信濃町議会だより

No. 195
令和8年7月31日号

芝張りプロジェクト！

第425回定例会　5～6月会議

条例・補正…… 1
陳情・賛否一覧表など…… 2
一般質問…… 3～8
委員会活動あれこれ…… 9
議会活性化特別委員会…… 10
政策提言の回答…… 11
全員協議会から…… 12
ぎかい活動365日…… 13～14
わたしの出番・お知らせ…… 15

発行／信濃町議会　発行責任者／酒井　聡
編集／議会広報調査特別委員会
〒389-1392 長野県上水内郡信濃町柏原428-2
TEL(026)255-2212
印刷／(社福) ながのコロニー長野福祉工場

条例制定１件・条例改正４件可決　６月会議

保育園統合検討委員会を設置へ

6月4日から15日間の日程で定例会6月会議が開かれ、条例制定1件、条例改正４件、陳情１件、発議１件、補正予算６件が審議され、それぞれ原案通り可決採択されました。

条例制定

信濃町保育園統合検討委員会設置条例の制定について

質問　検討内容は公表されますか。

答弁　広報やＨＰで周知する予定です。

質問　20名の委員の配分は。

答弁　学識経験者３名、保育関係者２名、保護者４名、地域代表者４名、民生委員２名、公募３名の予定です。

保育園統合　園児・保護者目線が大事

賛成討論　岡本かおり議員

信濃町保育環境あり方検討委員会で13回の協議を重ねた結果、４保育園を１つに統合する提言が示されました。園児数の減少による課題を踏まえ、将来にわたり、より良い保育環境を実現するため、統合検討委員会を設置する本条例に賛成いたします。

条例改正

信濃町議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例について

質問　時代にそぐわない部分があったが、今後の見直しは。

答弁　今回は見直ししていません。今後は検討していきます。

職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について

質問　時間外手当に特殊勤務手当が含まれますか。

答弁　特殊勤務手当は日額の支給で算定には含まれません。

信濃町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

質問　町として上乗せを考えていますか。

答弁　基準どおりに運用し、上乗せする予定はありません。

信濃町福祉医療費給付金支給条例の一部を改正する条例について

質問　この改正は拡充と考えてよいですか。

答弁　県の補助金の対象拡大で、拡充ということです。

質問　給付費の影響額は。

答弁　予測では90万円ですが、予算の中で、適宜様子を見ながら補正にて対応していきます。

補正予算

令和８年度信濃町一般会計補正予算（第２号）

９３９６万円の増額補正

主なもの、道路新設改良費

８８６万円増額

ほか各事業会計補正予算

５件

5月会議

５月13日専決処分の報告８件及び専決処分の承認２件、補正予算１件、財産の取得１件があり、それぞれ承認・可決されました。

令和８年度信濃町一般会計補正予算（第１号）

桝形処理場改修工事

２５７万円

財産の取得

広報（消防指令車）兼物資運搬車

トヨタ　ハイエース

１２９７万円

取得予定の広報車

陳情・請願

陳情

消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める陳情

陳情者

長野地区社会保障推進協議会

会長　菅田　敏夫

反対討論　**北村富貴夫議員**

急速な少子高齢化の現在、そして医療費が増加している今、将来を生きる若い皆さんのため少しでも医療財政を考え、医療財政を削減すべきと考えます。

若い世代の皆さんにすこしでも負担を削減し、医療財政のひっ迫を何とかしなくてはと思います。

賛成討論　**永原　和男議員**

かかりつけの薬剤師さんにお聞きしたところ、処方された頭痛薬がＯＴＣ類似薬に該当すると思われるとのことでした。

患者負担増で、健康保険制度が壊されようとしています。鎮痛剤などを保険対象外としないことを求める陳情に賛成します。

（採択）

発議

消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める意見書

提出者

信濃町議会議員　橋崎　一雄

陳情５号の採択を受けての発議です。

（採択）

保険適用の薬価が変わり、患者負担が増えます

５月・６月会議　議員・議案ごと賛否一覧表

「○」：賛成　「●」：反対　「／」：病気・公務出張等により欠席・議決に不参加　｛議長は議決に参加しない（－）｝

議案番号	議案の内容（要約）	審議結果	岡本かおり	峯村崇	小川敬史	佐藤博一	片野良之	伊藤博美	佐藤武雄	永原和男	橋崎一雄	湊喜一	北村富貴夫	酒井聡
議案第50号	専決処分の承認を求めることについて 信濃町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案承認	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	－
議案第51号	専決処分の承認を求めることについて 令和８年度信濃町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	原案承認	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	－
議案第58号	信濃町保育園統合検討委員会設置条例の制定について	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
陳情第５号	消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める陳情	採択	○	●	●	●	○	○	●	○	○	○	●	－
発議第１号	消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める意見書	原案可決	○	●	●	●	○	○	●	○	○	○	●	－

※全会一致の案件についてはホームページにてご確認をお願いします。
（賛成・反対同数の場合は議長が決することとなっています。）

信濃町議会　検索

一般質問 ズバリ！聞きます!!

一般質問通告一覧

1．**小川　敬史　議員**
- 義務教育における多様な学びのあり方と支援について

2．**佐藤　博一　議員**
- 様々な移動の安全管理基準について
- 国スポと町内美化について
- 各種団体への財政支援及び役員や理事等の就任について

3．**北村　富貴夫　議員**
- 町の農業について
- スポーツ都市宣言について

4．**岡本　かおり　議員**
- 遊休施設の利活用について
- 町制70周年記念イベントについて
- 一茶こどもまつりについて
- 一茶200回忌について

5．**橋崎　一雄　議員**
- 旧富士里小学校について
- ゼロカーボンの取組について

6．**佐藤　武雄　議員**
- 公園の在り方について
- 野尻湖の外資取得の土地について
- 指定管理者制度について

7．**片野　良之　議員**
- 石油由来製品の枯渇対応について
- 観光業へ対する支援策の強化について
- 鳥獣害対策について

8．**永原　和男　議員**
- 介護報酬の1年前倒改定について
- 生活道路の時速30キロ対応について
- これからの稲作農業について

9．**湊　　喜一　議員**
- 市民後見人制度の活用促進と成年後見人等送付先住所変更の一括手続について
- 命の安全教育の実施について

10．**伊藤　博美　議員**
- 有機農業の取り組みについて
- 農業と学校教育の連携について
- 子ども子育て支援金について

11．**峯村　崇　議員**
- 観光政策の方向性について（3月議会からの続き）
- 野尻湖周辺の整備について
- 地域DMO設立について
- 空き家バンク・空き家対策について
- 信越病院の夜間・休日診療体制について

議員一般質問を音声データで聴けることになりました。議会のホームページからアクセスしてください。

信濃町議会音声　検索

全国の平均と比べて 不登校児童・生徒の割合は

小川（おがわ）　敬史（たかし）　議員

教育次長　全国平均より高い

質問　フリースクールや中間教室、また不登校の児童・生徒の数は。

教育次長　町外のフリースクールに通っている人数は14名、ホームスクーリング1名、中間教室0名、学校に登校せず自宅学習している児童・生徒は17名となっています。

質問　学校に通っていない児童・生徒の割合について、全国平均と比べてどのような状況ですか。

教育次長　全国平均3．9％に対して、信濃小中学校は、令和6年度6．9％ということで、全国平均と比較し、高い結果となっています。

質問　飯綱町では、フリースクールの利用に対する補助制度を創設しました。信濃町としても創設するべきではないですか。

教育長　対象となる児童・生徒や施設の範囲、町内外の学びの場との公平性、保護者負担の状況、継続的な財源確保など今後必要な支援の在り方について研究してまいります。

質問　県の子ども子育て応援交付金制度が拡充され、義務教育年齢まで広がったが、どのように活用していきますか。

教育次長　現時点では、市町村ごとの交付金上限額や算定方法について、県から具体的な通知はされていない状況です。

多様な学びの場
「なからブンコ」で宿題

農業の未来は

北村（きたむら）　富貴夫（ときお）　議員

町長　持続可能な農業経営を推進していきます

質問　農業水利、道路等守るために町としての支援は。

産業観光課長　土地改良区や集落用水組合など関係団体と連携しながら、将来にわたって安定した農業生産が続けられるよう、必要に応じて支援の方に努めてまいりたい。

質問　産業振興を図る上で、観光部門と農林業、分けて課が必要では。

町長　限られた職員数の中にあって、また効率的かつ柔軟に事務を遂行できる体制について、組織再編を視野に入れた具体的な検討を進めてまいりたいと考えています。

信濃町宣言塔

スポーツ宣言都市について

質問　ふれあい広場のバックネット整備・管理は。

教育長　町の財政が非常に厳しい中で限られた予算を効果的に活用する必要があることから、町民の皆さんに継続してスポーツを楽しむことができる環境づくりに努めてまいりたいと思っております。

国スポについて

質問　当町で国スポが開催される意義のお考えは。

町長　国内最大のスポーツの祭典と認識し、野尻湖が選定されたのは、豊かな自然環境、地域資源が評価されました。町民の皆様がスポーツへの関心を高める貴重な機会で、おもてなしの機運の醸成や情報の発信にもつなげたく思います。

国スポ　オープンウォータースイミング
美しき自然環境の中での成功を祈りましょう

教育次長　部活の地域移行に伴い、クラブチームは信濃町スポーツ協会に所属し、そこにお願いしております。

バス事故への見解は

佐藤（さとう）　博一（ひろかず）　議員

町長　安全基準遵守は徹底

質問　安全管理基準や管理者、外部委託の契約条項は。

総務課長　公用車両管理規程があり、安全運転管理者等がいます。住民の方の使用は車両の使用許可申請書と安全運転の誓約書を提出頂きます。

質問　部活の生徒の送迎は、どのように行われていますか。

一般質問

（一般質問の内容や使用している文字・漢字、掲載している写真は、質問者本人が作成しています。）

遊休施設の利活用は

岡本（おかもと） かおり 議員

町長　サウンディング調査を実施する予定

質問　旧古間支館の木造校舎の利活用についての考えは。

町長　昨年開催された学習会では、地域活性化に向けた具体的な提案が多数出され、参加者からは自主的に施設の保全や活動に取り組みたいとの前向きな意見も寄せられました。旧古間支館に対する町民の思いを改めて認識するとともに、最もふさわしい活用方法を見出すため、引き続き様々な可能性について調査・検討を進めてまいります。

質問　過去の提言が具体化しなかった経緯を踏まえ、今後は施設を残しながら利活用を図る方向で具体的に進めていくとの認識でよろしいでしょうか。

町長　今年は具体化に向け、民間の幅広いアイデアを取り入れるサウンディング調査を実施する予定です。

味わいのある旧古間支館の木造校舎

町制70周年記念イベントについて

質問　イベントを動画などで記録しますか。

総務課長　実施結果を確実に保存するため、当日の様子を写真や動画などで記録する予定です。

※他に一茶こどもまつり・一茶200回忌について質問しました。

旧富士里小学校の現状は

橋崎（はしざき） 一雄（かずお） 議員

町長　屋根や窓ガラス等の破損が見て取れる

質問　小学校統合以来14年ほど経過しているが、現在どのような状況、状態になっていますか。

町長　台風や積雪などの影響で屋根や窓ガラスの破損などが見られる状況です。

質問　当初より、企業誘致など、跡地利用を検討されてきた経過があるが、アスベストを除去してから企業誘致など、検討されたらと思いますが。

総務課長　アスベストのみを処理するとなると、費用もかかりますし、その方向では今まで考えてこなかったのも、実態です。

質問　跡地利用検討委員会の答申がでています。今後の考えは。

総務課長　今年度、旧古間支館について、サウンディング調査を行う中で、提案をしてくれる民間業者がおられれば、旧富士里小学校につきましても、お話はさせていただく予定です。

太陽光パネルの設置の考えは

質問　公共施設に太陽光パネルの設置を提案します。

まずは、役場庁舎に設置を検討されてはどうですか。

総務課長　役場庁舎のパネルについては、まだ検討していませんが、もしそれで電力が余ってくれば、ほかの公共施設での利用や売電も検討してまいります。

旧富士里小学校の将来は

外資取得土地の赤線、青線専用許可は

佐藤（さとう） 武雄（たけお） 議員

町長　平成に入り国から町に無償譲渡

質問　野尻湖外資取得周辺の赤線、青線及び専用許可等の状況は。

町長　平成に入り地方分権一括法により国から町に無償譲渡されました。これらを法定外公共物と呼んでおり専用申請が一箇所なされています。今後は専用あるいは払い下げ等の要望があれば協議に応じたい。

指定管理者について

質問　黒姫の保養地は公の施設ではないと思いますが。

産業観光課長　条例に位置付け公の施設として指定管理制度を導入しています。

質問　県などから町が任せられたという経過があるのではないですか。

産業観光課長　平成20年当時から指定管理制度でやっております。公の施設としてふさわしいのかについては検討します。

競技場内に保養地管理棟が混在

質問　指定管理の引継ぎ体制については。

総務課長　町と指定管理者が連携した維持管理体制を構築し、施設の適切な運営を維持すると共に次も円滑な引き継ぎに繋がるよう努めています。

質問　指定管理を受けた受託業者を町の損害賠償保険の被保険者にしてはどうか。

産業観光課長　受託業者と再度協議しますが、基本的には受託業者が保険に入るのが基本です。

※他に町内公園について質問しました。

石油由来製品の枯渇対策は

片野（かたの） 良之（よしゆき） 議員

町長　国の動向も見定め支援に取り組みたい

質問　ニュースで石油由来製品の枯渇問題が流れ、生活の負担になっている現状に、病院や町内業者の支援が必要では。

町長　国において8年度補正予算が示され、地域の実情に応じて内容をアレンジ出来るような施策も講じられ、こうした国の動向も見定めた上で事業者への支援に取り組みたい。

観光業へ対する支援策の強化は

質問　今現在、ピークシーズン以外の合宿に対して支援等が行われていますが、これを継続さらに強化する考えはありますか。

産業観光課長　合宿誘致に対する支援事業を展開し、一定の成果を収めました。しかし取り巻く環境は絶えず変化し、柔軟かつ強力な次の一手が求められると認識しています。

鳥獣害対策について

質問　主に対応の前面に立つ猟友会の方々は高齢化も進み、会員数もだいぶ少なくなったと聞きます。町で狩猟を行うような人材確保や育成、いま取り組まれているものを紹介していただければ。

産業観光課長　町では現在新たに狩猟免許を取得する方に対して受講料や講習費用、狩猟登録に要する経費の一部を補助するなど、担い手確保に向けた支援を行っています。

設置されている箱罠

永原（ながはら） 和男（かずお） 議員
小中学校南側の40キロ制限は
総務課長　速度の引き下げは行わないとの回答

質問　小中学校南側の40キロ制限はどうなりますか。

総務課長　今年の2月に、長野中央警察署に30キロに制限していただきたいと要望書を提出しました。警察署から法定速度の引き下げは行わないとの回答をいただきました。

質問　町道の路面に30キロとペイントすることはできませんか。

総務課長　公安委員会の権限であり、道路管理者（町長）が表示することはできません。

介護報酬の1年前倒し改定について

質問　臨時改定にともなう補正予算の考えは。

町長　予算が不足する場合は、補正予算または基金の取り崩しで対応してまいりたい。

稲作農業について

質問　町長は稲作農業の現状をどのように認識していますか。

町長　稲作農業を取り巻く環境は高齢化・後継者不足に加えて、肥料など生産資材価格の高騰などで、厳しい局面にあると認識しています。

質問　親の農業を継承する支援制度がありますか。

産業観光課長　同じ経営体での、事業継承支援策について確認したい。

田植えのお手伝い

湊（みなと） 喜一（きいち） 議員
「命を守る教育」の実施状況は
教育長　状況に応じて広げていきたい

質問　信濃小中学校において「命を守る教育」の実施状況を聞きます。文科省では指導者の意識改革、児童生徒の教育に資するように、指導者・児童・生徒用の動画をそれぞれ制作しています。その動画の利用も含めての今後の進め方は。

教育長　文科省作成の動画教材は、4・5年生で活用実施、「命を守る教育」は状況に応じて活用を広げていきたいと思っています。養護教諭・臨床心理士・保健師等連携し全体の指導と個別の支援を組み合わせて進めることが重要であると考えています。

後見人制度の利用促進

質問　認知症高齢者の増加は社会的課題となっており、これに伴って成年後見制度の需要も一層高まると見込まれる。町における成人後見人制度・法人後見人制度の市民後見人制度の三つの制度の直近の利用者数と、この制度のあり方・周知の方法・今後の見通しをお聞きします。

町長　包括支援センター・福祉係が、町社協・長野市成人後見人支援センターと連携し対応しています。利用者は極々少数です。今後、この制度への相談は増加すると考えています。

命を守る教育を

伊藤（いとう） 博美（ひろみ） 議員
農業と学校教育の連携は
教育長　地域への愛着と協力を育む重要な学び

質問　学習の内容は。

教育次長　一年生から三年生はじゃがいも、トウモロコシ、トマト、スイカ、メロンを栽培し、四年生は米作りを行っています。

質問　支えてくれる支援の取り組みは。

教育次長　米作りは古間前川用水流域保全の会と保護者のご支援で取り組んでいます。

質問　学習体験活動の教育委員会の受け止めは。

教育長　地域への愛着、仲間との協力を育む観点から大変重要な学びであり、体験を通じた学習の充実に努めてまいります。

有機農業

質問　取り組んでいる内容と事業推進の目標は。

町長　有機栽培の試験的取り組み、講演会、現地検討会、学校給食の試験的な取り組み、農福連携の支援を予定し、オーガニックビレッジ宣言の実現につなげたい。

収穫が楽しみだ
指導員さんありがとう

峯村（みねむら） 崇（たかし） 議員
DMO・観光の方向性は
町長　ネイチャーポジティブな再生型観光を目指す

観光戦略の軸

質問　観光ビジョンの軸をどこに置くのか。

町長　ネイチャーポジティブ（再生型観光）を柱に据え、事業者の長期投資の指標とし、歴史文化も加え魅力を高めたい。

地域DMO・野尻湖

質問　DMOの体制や野尻湖周辺の将来像は。

産業観光課長　DMOは行政と対等なパートナーであり、官民連携チームで具体化したい。野尻湖周辺は補助金を活用しエリア全体の景観美化を考えたい。

野尻湖に浮かぶ弁天島の宇賀神社

信越病院の夜間・休日診療

質問　子育て世代等が時間外受診を断られる現状がある。判断基準の明確化を。

病院事務長　一律のルールは困難だが、共通認識や運用方針を整理し、安心できる体制に努めたい。

※その他に「空き家バンク」、「元50ｍプール跡地の活用について」など質問しました。

委員会活動あれこれ

総務産業常任委員会所管事務調査報告

4月22日、今年度から新たな指定管理者となった団体との面談及び黒姫管理棟を視察し、管理運営状況を把握しました。各委員からは「状況を見る限りなんとか対応できていると思いますが、課題があると思います」「利用者へのアンケートも必要では」「宿泊施設がないため合宿目的の団体を受け入れられず、せっかくの運動場のポテンシャルを十分に生かせていない現状がある」などの感想、意見が出ました。

黒姫陸上競技場の指定管理状況の視察

黒姫陸上競技場

社会文教常任委員会所管事務調査報告

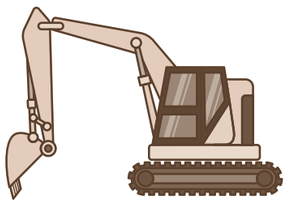
5月27日桝（ます）形不燃物最終処分場の視察を行いました。

目的は、処分場施設等改修工事の状況、重機等稼働状況及び作業状況の現地視察です。

廃棄物は、0.5メートルの覆土を挟むサンドイッチ方式で埋立てられています。計画変更後の残余容量は2,449立方メートルで、現在の埋立量からみると今後25年程度は埋め立て可能と思われる。ごみ量の年々の減少は、町民の分別意識の向上や作業員の努力によるものと感じました。一方、北側えん提のイノシシ被害や湧水の排水対策は、早急な対応が必要です。

長年使用してきた重機が一台故障中であり、6月中に同程度の重機の更新が予定されております。

また、資源ごみについては、作業員による丁寧な分別処理がなされていました。



桝形最終処分場で説明を受ける委員

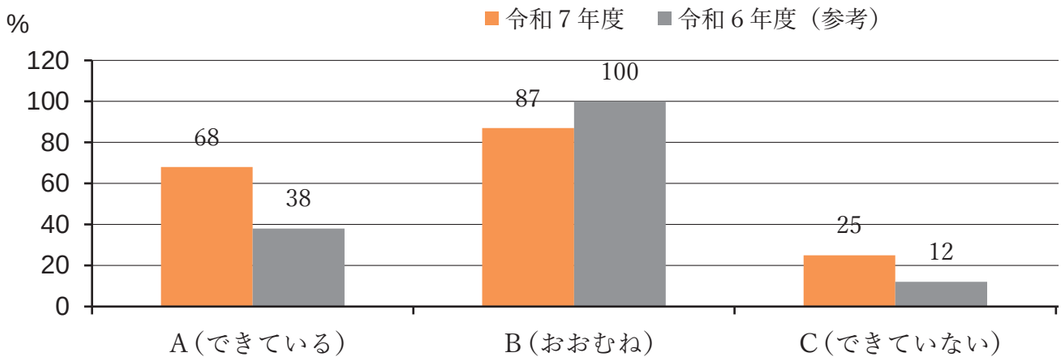
議会活性化特別委員会

～信濃町議会基本条例の検証・評価報告～

議会は、1年ごとにこの条例が達成されているかどうかを検証します。

※議会基本条例とは、信濃町議会が「分かりやすい議会・開かれた議会・行動する議会」を目指して令和3年4月施行された条例です。

回答議員数	12名（令和6年度：10名）
評価区分	A：できている　B：おおむねできている　C：できていない 評価なし：記入なし



議長、副議長志願者の所信表明については、志願者に会議場で所信を表明する機会を設けることを義務付けており、この条例などについて、全議員が肯定評価しました。

町長等と議会、議員の関係については、議会が町長等と常に緊張関係を保持し事務執行の監視・評価と政策提言を行う事等、二元代表制における議会の革新的条文などについて、おおむね肯定評価しました。

議会改革及び活性化の推進の条項については、具体的な活動全般に関わる包括的な条文であるが、8名の議員が出来ていないとの回答でした。

総括

結果は全員が評価をし、総合肯定率（A+B）は
86.1%という結果になりました。

しかし、第7条の議会改革及び活性化の推進の項目についてはできていないと評価する率が昨年度よりも増え、自由記載には「改革はまだまだ」「町民対話の取組がなく、改革につながらなかった。」「活性化委員会の活動が低迷」「以前より複数年実施する予定であったことを行なわなかった。」という、具体的な取組の停滞・未実施を示す記述が複数示されました。

政策提言の回答

（主旨）

観光振興と地域経済の活性化について

地域DMO設立の推進に当たり、庁内における連携体制の構築や必要な人員配置について検討し、行政のみならず関係団体や民間事業者と連携しながら、継続的かつ主体的に協力して取り組むこと。

全国的にDMOの設立が進む中で、補助金に依存した運営や収益確保に課題を抱える事例も見受けられることから、持続可能な運営体制の構築が重要であると認識しております。

地域DMOの必要性や実現可能性について段階的に検討を進めてまいります。

観光振興や移住・定住の受皿として深刻化している町内の賃貸住宅不足に対応するために、民間活力を活かし空き家の有効活用・賃貸住宅整備などの支援策や環境整備を検討すること。

移住されて観光産業等に起業する方々については、従来から制度化している起業等人材育成支援事業補助金やUIJターン就業・創業移住支援補助金により引き続き支援してまいりますし、特定地域づくり事業協同組合の充実を図ることにより、必要に応じた人材の支援も行ってまいります。

観光施策と住環境整備、スポーツイベントを相互に連携させ、交流人口・関係人口の拡大及び地域経済の活性化に努めること。

来訪前の期待醸成から来訪後の継続的な関わりまでを意識した取組を進めます。また、ガイドブック、ウェブサイト、SNSを連携させ、観光情報だけでなく、暮らしや仕事、地域との関わりも含めて発信することで、信濃町を「訪れる場所」から「関わり続けたくなる第二のふるさと」へと高め、町内での新たな滞在機会の創出による宿泊業・飲食業の活性化に加え、ふるさと納税による寄附の拡大や返礼品の提供を通じた地域産業の活性化にもつなげていきます。

野尻湖の観光の方向は？

生活環境と景観の保全について

再生資源物屋外保管施設の設置に関する条例を制定すること。

法改正では、現在は規制対象外となっている使用済み金属、プラスチック物品の保管、再生を追加し、事業を行おうとするものは都道府県知事の許可を受けなければならないものとされております。また、政令で定める基準に違反したときは、改善や事業停止命令等の規定も整備される予定です。今後の国の動向を注視しながら、県と連携し適切に対応してまいります。

行政指導の指針となるべき「再生資源物屋外保管施設の設置に関する指導要綱」を早急に制定すること。

保管物の高さ制限、飛散・流出の防止、騒音・振動の防止などが想定されております。今後具体的な基準が検討されることから、国の動向を注視しながら、県と連携し適切に対応してまいります。

政策提言の回答

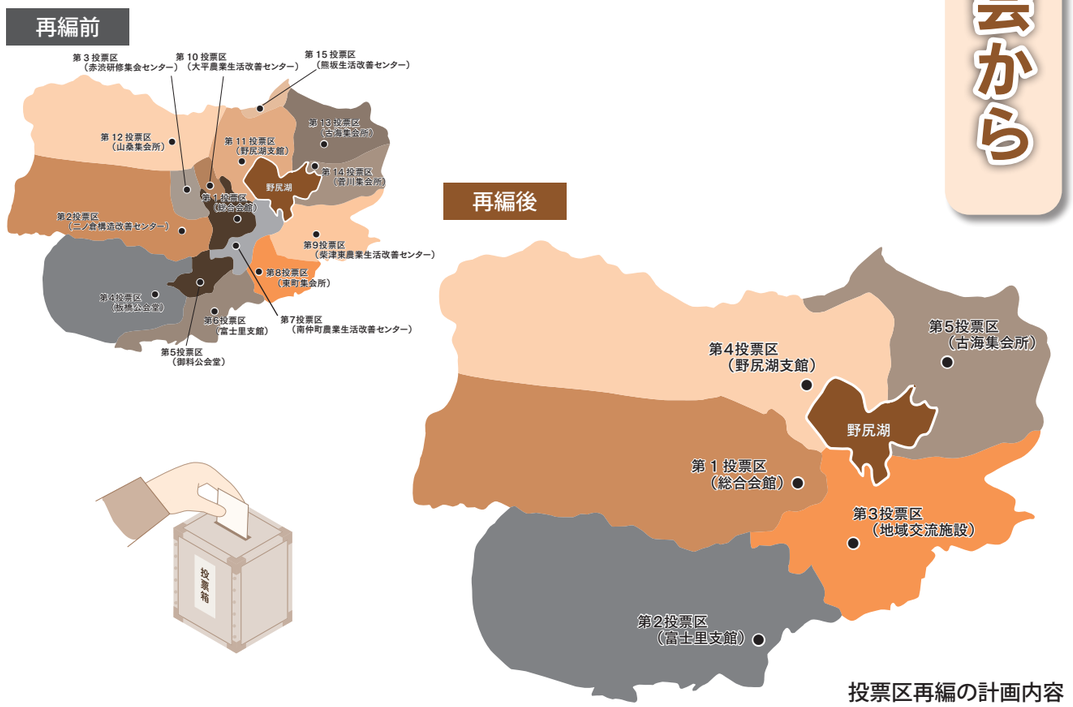
※DMO（観光地域づくり法人）とは、地域の「稼ぐ力」を引き出すため、様々な関係者と連携しながら科学的なデータ分析に基づいた観光戦略を立て、地域一体となった観光マネジメントやプロモーションを行う組織のことです。

全員協議会から

投票区を5箇所に再編する計画

町選挙管理委員会では、人口減少や高齢化に伴う担い手不足への対応と利便性向上のため、投票区を旧小学校単位の5箇所に再編する計画を進めています。

再編後は、町内どの投票所でも投票できる「共通投票所」を導入するほか、バリアフリー化や、投票所が遠くなる地域へのデマンドタクシー・移動式投票所による移動支援を実施する予定です。この再編により、約60人の従事者と、1日あたり約200万円の経費削減を見込んでいます。



投票区再編の計画内容

観光ビジョンが策定されました

町は、豊かな自然や食文化の強みを活かし、滞在時間や観光消費額の向上を目指す今後5年間の「観光ビジョン」を策定しました。今後は官民連携のプロジェクトチームを設置し、観光商品の造成や二次交通の整備などの重点施策を具体化していきます。

効果的な戦略に不可欠なマーケティング調査の実施や、全国で戦える外部プロ人材の登用による推進体制の強化について、検討していきます。

全員協議会から

ぎかい活 動365日

４月から６月　までの主なもの

6/21 信濃町戦没者追悼式

町、社会福祉協議会主催の戦没者追悼式が行われました。二度と戦争による犠牲者が出ないことを心から願います。

6/25 山形県大江町議会の皆さん小中学校視察

大江町議会の皆さんが、信濃小中学校を視察に来られました。

少子高齢化の現在、今後の学校をどのようにすべきか、検討をされています。

4/29 消防団出初め式

第一分団～第四分団が揃い、古間の総合グラウンドにおいて出初め式が行われました。

酒井聡議長が、挨拶を行いました。

4/26 湖水開き

野尻湖湖水開きが開催され、議長・副議長・総務産業常任委員長・社会文教常任委員長の４人が出席し、一年の無事故と安全を祈願しました。

5/21 上水内町村議会正副議長連絡会総会

上水内郡２町１村の発展に資するよう正副議長が集い、会議を持ちました。信濃町からは酒井聡議長・北村富貴夫副議長が出席しました。

5/ 5 全国小中学生俳句大会表彰式

全国各地から応募され、見事に受賞された小中学生が一茶記念館に集まり、盛大に表彰式が行われました。

９月議会は９月２日（水）～
一般質問は９月７・８日予定です。

編集後記

今号の「議会だより」はいかがでしたでしょうか。編集作業が佳境を迎える頃、窓の外には夏の到来を告げる青空が広がっていました。

今回の編集では、より「読みやすく、伝わりやすい紙面」を目指し、広報委員一同で何度も推敲を重ねました。日々変化する社会の中で、地域の課題も多様化しています。議会で何が話し合われ、どう決まったのかを正確にお届けすることが、私たちの役目だと改めて実感しています。

これからも皆さんの生活に寄り添う議会だよりを目指してまいります。本格的な暑さが始まりますが、どうぞご自愛ください。ぜひ、今号へのご意見やご感想もお寄せください。（峯）

～議会広報調査特別委員会～

委員長　北村　富貴夫　　副委員長　片野　良之
委員　　湊　喜一　　小川　敬史　　岡本　かおり　　峯村　崇

Fax 026-255-3081　E-mail:gikai@town.shinano.lg.jp

表紙の写真

一茶旧宅裏に芝を張り、植樹を行う「芝張りプロジェクト」が行われました。

みんなで力を合わせて小さな公園作り、終わった後はタケノコ汁とおにぎりをいただきました。（小）

こんにちは わたしの出番（でばん）です

四季に寄り添う暮らし

古海　栗田　綾香さん

夫と息子、愛犬の3人＋1匹家族で、一年四か月前に東京から信濃町へ移住してきました。東京では約10年間会社員をしていましたが、ご縁をいただいてこの町に転職し移住することになりました。

信濃町での暮らしで最も印象的なのは、四季の移ろいを身近に感じられることです。東京ではカレンダーで知っていた季節の変化を、今は山の景色や風の匂い、畑の様子から感じています。

雪国での生活は初めてで、除雪は大変ですが、二歳の頃から雪遊びやスキーが大好きな息子は、毎週のようにスキー場へ行きたがるように。その楽しそうな姿を見ているうちに、私も嫌いだった冬が好きになっていました。

古海の皆さんには温かく迎えていただき感謝しています。これからも地域の皆さんとの交流を楽しみながら、この町での暮らしを家族とともに育てていきたいと思います。

第二の故郷・住み慣れた土地

長水　田村　孝之さん

信濃町に縁があり、暮らして40年余り過ぎました。

暮らし始めた当初は、周りに誰も知り合いがいなく、どうしようと思っていたときに、誘われるままに地元消防団に入団し、早起き野球、ナイターソフトのメンバーになり、地元と馴染んできました。

今義理の父が戦後開拓者として入植し、開墾した土地で自家用の野菜を作っています。春は新緑と山菜採り、夏は抜けるような青空と涼風、秋は紅葉、冬は雪化粧と除雪を楽しんでいます。

農作業の一休みに座り込みと背後に黒姫山、前方には菅平・志賀高原・斑尾山のとても良い眺めを満喫しています。高齢者・地元離れで住民も少なくなりましたが、この土地と景色をいつまでも残したいと思っています。

議員との懇談会のお知らせ

日頃、町議会に対し議会傍聴、陳情、請願、議員活動等に深いご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

町議会では、議会活性化委員会を中心に町内各地で懇談会を開催してきました。

今回は、富士里地区で開催します。子どもから大人まで、事前予約なしで当日どなたでもご参加いただけます。ぜひお気軽に足をお運びください。

日時　8月23日（日曜日）
午前10時から11時20分

会場　富士里支館　1階